



税務・会計

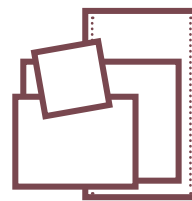
スキャナの最適配置でクライアント情報の管理を効率化!

多数のクライアントを抱える木南会計事務所(東京都千代田区)では、膨大なクライアント情報をデジタルで一元管理することで業務の効率化を実現している。オフィス向け文書管理ソフトで多くのユーザーから支持を集める「DocuWorks」での管理に加え、複合機とドキュメントスキャナシェアNo.1*の『ScanSnap』を組み合わせた、適材適所のスキャナ配置は大きな成果を生んでいるという。所長の木南誠先生に、その効果のほどを伺おう。



木南会計事務所
税理士
木南誠様

木南先生の ScanSnap活用法



クライアントから預かる
請求書の束を
スキャンして記録

*BCN AWARD 2015 スキャナ部門最優秀賞(年間販売台数No.1)受賞。



クライアントから預かる請求書の束をスキャンして記録

定型・大量の書類は複合機で、不揃いの書類は『ScanSnap』で。 「DocuWorks」への取り込みがいつでも便利になった!

現所長の木南誠先生で3代目となる木南会計事務所は、大小の法人、フリーランスなどの個人、飲食店など、多彩かつ多数の顧客を抱える老舗事務所だ。税務と会計、両サービスで信用を最重要視する当事務所において、木南先生の悩みの種だったのがクライアント情報、す

なわち膨大な書類の管理だ。

「うちでは税務で電子申告を行う場合も必ず申告書を紙で出力し、クライアントにお見せしてから印鑑をもらうなど、双方が納得できる形で業務を進めています。また、こうした書類はいざという時のために紙で控えを取り、長期にわたって保管してきました。祖父の時代からのクライアントの場合、50年以上保管している書類もあります。しかし紙の書類には、保管のための場所が必要である、検索などのアクセスに難点があるといった管理上の問題があります。そこで事務所の電子化を進め、5年ほど前から新規で発生した書類を対象に、『DocuWorks』による文書のデジタル化と一元管理に移行しています」

「DocuWorks」は富士ゼロックスのドキュメントハンドリング・ソフトウェア。木南先生はこれを税理士会の研修で知った。クライアントの印鑑が捺された書類も富士ゼロックスの複合機でスキャンしデジタルで控えを残せる点や、それらスキャン文書をデジタル作成文書と同列で管理できる点、デジタル文書に書き込みなどを簡単にいれられる点が事務所の業務にうってつけだったため、迷いなく一気に導入。事務所のスタッフ全員が使えるようにしたという。この「DocuWorks」導入によって、意外な効率



複合機と
『ScanSnap』を
使い分ける

大量の定型書類は複合機で、サイズや形の揃わない書類はデスク上の『ScanSnap』でスキャン。「Scan to DocuWorks」を活用すれば『ScanSnap』からもダイレクトで「DocuWorks」にデータを送れる。

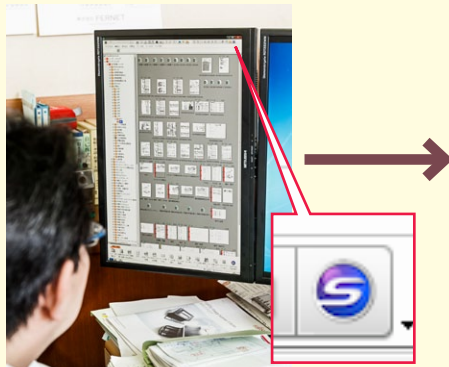


各デスクに複数のモニターが並びオフィス。「DocuWorks」はほぼ常時開かれ、いつでも参照できる。

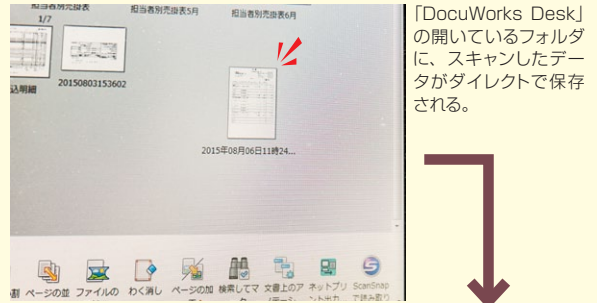
『ScanSnap』から「DocuWorks」へダイレクトに保存!



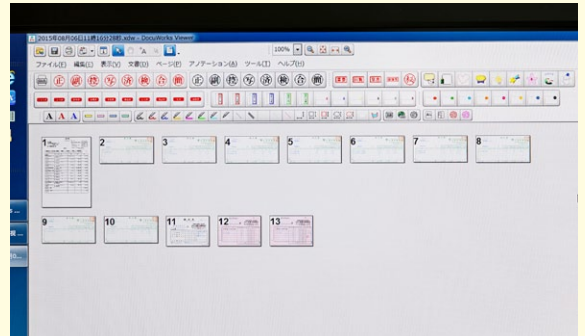
「ScanSnap iX500」でのスキャン。サイズや向きが異なる書類もまとめてセットできる。



「Scan to DocuWorks」をインストールしていれば「DocuWorks Desk」画面のスキャンボタンをクリックするだけでスキャンがスタート。



「DocuWorks Desk」の開いているフォルダに、スキャンしたデータがダイレクトで保存される。



「ScanSnap」なら各書類のサイズと向きを自動的に補正してデータ化される。

化の芽も出てきた。スタッフ個々の手元に日常的に集まる紙もスキャンしてデジタル化し、「DocuWorks」で管理したいというニーズが生まれたのだ。特に業務に直結するところでは、小規模法人や個人などから月ごとに預かってくる、規格が揃いの請求書や領収書の束などだ。

「たとえば、こうした請求書（上写真）をガサッと受け取って、税理士の視点で仕分けし、記帳していきます。これも欠かせないサービスの一つです。そこで、こうした書類のスキャン専用機として『ScanSnap iX500』を試験的に導入したところ、どんびしゃりでした。『ScanSnap』なら重ねて一気にスキャンできますし、向きを自動的に補正してデジタル化してくれます。それらのデータはScanSnap連携ソフト『Scan to DocuWorks』によって、複合機によるスキャン同様『DocuWorks』フォルダにダイレクトに保存されるため、仕事の流れが止まることもありません。請求書の原本はスキャン後、すぐにクライアントに返却できます。『ScanSnap』導入後は、A4など定型の書類を大量にスキャンするときは複合機、こうした請求書や伝票類をスキャンするときは『ScanSnap』、という使い分けができるようになり、業務が効率化しました」

デスク上に設置できるのも『ScanSnap』の利点だ。日々増える名刺も手軽にスキャンして「DocuWorks」へ。関連書類とともに保存しておけば案件単位で関係者の連絡先を確認でき、とても便利だ。現在、木南先生はスタッフのデスクにも「iX500」を置くことを検討中だ。実現すれば木南会計事務所の確かな仕事にますます磨きがかかるだろう。



通信販売を手がけるクライアントの場合、「振替受払通知票」もスキャン対象となる。これも「iX500」で手軽にスキャンできる。

+α 「iX100」を携行し、客先で書類をスキャンする

木南先生はモバイルタイプの「ScanSnap iX100」を業務に導入することも試みている。携行が簡単なので、クライアントを訪ねた際に必要な書類をその場でデジタル化するのだ。データで持ち帰れるため原本紛失の心配がなく、クライアントにコピーを頼むといった心苦しい事態も避けられる。税理士や会計士にぴったりの活用法だ。



「iX100」は、このように固定資産税の長い明細書もその場でスキャンできる。

木南誠様

祖父の代に東京・神田で開業し、父の代に現在の九段に移転した木南会計事務所所長（3代目）、税理士。大小の法人から個人まで、多数かつ多彩なクライアントの税務と会計業務に携わる。木南事務所は早い時期から積極的にIT化を進めており、木南先生はじめほとんどのスタッフがPCを自作するほどITに詳しい。

* DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

【著作権について】 著作権の対象となっている新聞、雑誌、書籍等の著作物は、個人的または家庭内、その他これらに準ずる限られた範囲内で使用することを目的とする場合など、著作権法で定められた例外を除き、権利者に無断でスキャンすることは法律で禁じられています。なお業務利用では、著作権者の許諾が必要となることがありますので、著作権法、およびご利用になる企業や団体で定める利用規則等に従って利用して頂くようお願いいたします。本事例におけるスキャンは、私的使用の範囲か、または、著作権法上問題のない資料等が対象とされています。

販売店 ●商品については、担当支社へお問い合わせください。

株式会社 ミログ情報サービス

【発信元】

営業本部 営業推進部

東京都新宿区西新宿1-25-1新宿センタービル4F

TEL:03-5326-0381 FAX:03-3343-5789

【お問い合わせ先】株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター

TEL:050-3786-0811

<受付時間> 月～金曜日 9～17時（当社休業日除く）

E-mail: scanners@pfu.fujitsu.com

ScanSnap に関する詳細はこちら

<http://scansnap.fujitsu.com/jp/>

●製品の内容などは改良等の目的で予告なく変更する場合があります。